



MAEZAKI



積み重ねた努力の結晶
マットdeシンクロ完成！

平成27年度 御前崎市施政方針



市長が語る まちづくりの大綱

御前崎市12年目のまちづくりがスタートしました。防災対策や企業誘致、定住促進、子育て支援などに力を入れたまちづくりを進め、「住んで良かった」「住み続けたい」と思えるまちにするための施政方針をお伝えします。

本年度予算編成

平成27年度は、総合計画後期基本計画の最終年度となります。平成28年度から平成37年度までの10年間を計画期間とし、人口減少社会という厳しい現実を踏まえながらも、市民ニーズを的確に反映し、生んでよし、育ててよし、住んでよしの御前崎市。市民が「住んで良かった」、市外からも「御前崎市に住んでみたい」と思われるような計画を市民の皆さまと共に策定していきたいと考えております。

この計画を達成するための事業はもとより、防災対策や子育て支援の推進にも早急に取り組んで行く必要があります。

予算編成にあたりましては、基金の有効活用など、歳入の確保をした上で、このような事業を積極的に推進してまいります。(予算の詳細はP6)

平成27年度重点施策5項目について説明します。

災害に強い消防・防災体制の充実

東日本大震災の発生から約4年、南海トラフ巨大地震を想定した、静岡県第4次被害想定が発表されてから2年が経過し、当市におきましても

地震・津波対策を進めてまいりました。

社会環境の変化に伴い、災害や事故が複雑かつ大規模化しています。

このような状況の中、災害に的確に対応できる体制を構築するため、人材育成や消防資機材の増強など、バランスの取れた消防力の強化に力を注いでまいります。

地域防災力の中核である消防団につきましては、活動の充実・強化を図るため、装備の充実や処遇改善に努めていきます。

また、交通事故や犯罪による被害に対しても、市民一丸となって削減に取り組むことも必要であると考えます。

交通安全意識や防犯意識の高揚を図るため、官民一体となり、啓発活動などに努めてまいります。

近年各地で多発する、ゲリラ豪雨や、台風などによる浸水被害、土砂災害といった風水害対策についても、さらなる対応が必要となっております。防災で重要なことは、自らの命は自らで守る「自助」であり、そしてお互いに支えあう「共助」を地域の中で充実していくことが「減災」につながっていくものと考えます。市は「公助」として防災対策

を強化するため、避難路や防災備蓄用品の整備、津波避難計画方針書に基づく避難施設整備をはじめ、自主防災組織の強化を図るための支援、南海トラフ地震の防災対策を推進するための計画策定など、ハード・ソフト両面の対策を進め、安全・安心なまちづくりを進めていきます。

経済と産業の充実

市の基幹産業である茶業・水産業環境が大変厳しい状況下にあることから、その対策も急務であると考えます。

茶生産者と茶商で組織する御前崎市茶業振興協議会に引き続き支援を行い、今まで以上のご協力をいただきながら御前崎茶の販路拡大や消費拡大を図ってまいります。

水産業におきましては、政府が地方の創生に向けた政策として打ち出した、まち・ひと・しごと創生総合戦略である「地方創生型」の交付金を最大限に活用し、水産業者を始めとした1次産業の振興に努めてまいります。

農業・漁業者の高齢化や後継者不足など多くの問題を抱える現状について、新規就労や若手同士が意見や情報を共有できる話し合いの場を設

け、将来の1次から6次産業の活性化を図れるように努めてまいります。

商工観光振興・企業誘致については、国内の景気は緩やかに回復しつつあると言われているようですが、市内の消費動向はまだ厳しいものがあります。このため、個人消費拡大と商工業の経済活性化を図るため「プレミアム商品券」を発行します。

企業誘致につきましては、この地域に進出の可能性のある業種を調査の上、用地の先行造成について調査研究を進めてまいります。

人口の減少に歯止めをかけ、定住人口の増加につながるまちづくりを推進するためにも、企業誘致による雇用機会の拡大と税収の増加が、市の経済発展につながるものと考えております。

今後も定住化の促進、および幅広い業種を視野に入れた企業誘致を進めていくとともに、地域や企業の実情に沿った支援策の見直しについても着手してまいります。

教育と子育て支援の充実

御前崎市では、保幼小中高を「二つの学校」と捉える「スクラム・スクール・プラン」を推進し、授業公開などによ

り、教育の担い手の心を一つにし、「とぎれない教育」を実現させる、観（子ども観、学習観）の共有に努めています。

教育施設の整備につきましては、安全で安心して使用できるような適切な維持管理を行い、施設の延命化を図ります。平成27年度は、白羽小学校のプール新築工事や、校内のLAN環境の整備により学校間のネットワーク化を構築していきます。

少子化は、本市のみならず全国的な長年の傾向であり、政府も重点政策として位置付けています。将来を見据え、可能な限りの継続的な支援策は必須であり急務であると考えます。

このような点を踏まえ、平成27年度は子育てに特化した部署として「こども未来課」を創設し、充実を図ります。

新規事業といたしまして、第2子出産時や第3子以降の出産時に「出産奨励金」を支給し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

また、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市内の小中学校に通う児童の体操服などの購入を助成し、子育てしやすい環境整備を図ります。放課後児童クラブ事業については対象児童を6年生まで

拡大し、保護者の就労機会の拡大や「子どもの命を守る場」、家庭に代わる「生活の場」を提供できるように実施していきます。

4月から市内3カ所目となる認定こども園「御前崎こども園」がスタートします。園内には「支援センター」も開設され、より身近で地域の実情に即した子育て支援の充実に寄与できるものと思っております。

信頼される地域医療と福祉の充実

超高齢化社会を迎える中、地域の医療体制の充実が皆さんが最も必要性を感じている施策と認識しております。

医師の偏在による医師不足や地域格差は大変厳しい状況ですが、引き続き市立御前崎総合病院の医師確保に全力を注ぐとともに、中東遠地域を中心とした広域的な医療体制を構築するため、関係自治体および近隣病院との機能連携をさらに強化してまいります。

また、地域医療を担っている医師などの負担を軽減するためには、患者となる市民の意識改革も必要と考えます。

現在、「御前崎市地域医療を育む会」が中心となり、医療機関との関わり方、健康維

持・促進の普及啓発に取り組んでいただいておりますので、引き続き活動支援を続けてまいります。

開業医などの確保につきましては、診療所等開設資金支援事業により、新規に診療所などを開設する医師、既存施設を拡張する医師を支援することで、地域医療の確保に向けた取り組みを行ってまいります。

市民の健康寿命の延伸に結び付くよう健康づくり事業の充実、妊婦健診、予防接種の助成および乳幼児健診などでの相談対応など、母子保健の充実、育児不安を抱える親などの不安軽減、支援を必要とする子に対する早期療育を行うなど、支援体制の充実を図ってまいります。

快適な住環境の整備充実

全国的に汚水処理施設の整備が進む中で、合併処理浄化槽は効率的に整備することが可能な汚水処理施設とします。ますます期待が高まっております。

当市におきましては、御前崎・白羽地区において、生活雑排水やし尿を処理する合併処理浄化槽の設置を推進してきました。本年度は、合併処理浄化槽設置に掛かる予算額を増額し、合併浄化槽の設置、

切り替えの推進を強化してまいります。

住宅管理事業につきましては、需要と供給のバランスを考えながら整備を進めていく必要があります。市営住宅の耐用年数が半分以上経過している建物もあり、老朽化の進行を防ぐために、市が策定した市営住宅長寿命化計画に基づき、計画的な改修・修繕工事を行い経費削減に努め、皆さまが安心して居住できる市営住宅を提供してまいります。

公園管理事業につきましては、公園施設長寿命化計画を策定した後、快適な空間が提供できるよう、公園施設の遊具の安全性について計画的に検証し、市民の憩いの場として安全で安心して利用できる適正な維持管理に努めてまいります。



独自の発想で教育を

平成26年度教育研究奨励賞授賞式が3月2日、文化会館で開催されました。市内公立学校などに勤務する教職員の研究実践活動を奨励し、研究意欲と資質の向上を促すことを目的に開催されており、最優秀賞に倉嶋恵利佳教諭(第一小)が選ばれました。



御前崎茶の歴史文化を再発見

御前崎茶の歴史文化再発見イベントが3月7・8日に丸尾記念館で開催され、その中で山本義彦さん(静岡大学人文学部名誉教授)が「丸尾文六と牧之原開墾」と題して講演しました。集まった68人の来場者は、丸尾氏の功績や茶の歴史に耳を傾けました。



気持ち新たに貢献誓う

市消防本部の平成26年度新規採用職員3人が3月26日、半年間の静岡県消防学校での研修が終了したことを石原市長に報告しました。3人は「市民の皆さんの役に立てるようこれからも訓練に励み、努力していきたいと思っております」と思いを述べました。



愛犬の冥福を祈る

県動物保護協会小笠支部と市動物保護協会は3月4日、比木の正福寺で畜犬の合同慰霊祭を執り行い、愛犬が亡くなった飼い主ら約40人が参列し冥福を祈りました。動物愛護功労者や動物の適正飼養者に同支部表彰や同協会表彰が贈られました。



池谷さくさんの長寿を祝う

3月28日に100歳の誕生日を迎える池谷さくさん(新谷区)を石原市長が訪ね、祝い状や花束を贈り長寿を祝いました。編み物が趣味で、現在も帽子やマフラーなどを編んでいるというさくさんは「毎日を楽しむことが長生きにつながる」と話しました。



道の駅グランドオープン

道の駅風のマルシェ御前崎に交流研修施設と展示温室が完成し、3月28・29日にグランドオープンイベントが開催されました。会場では餅つき大会が開かれ、訪れた多くの人たちは餅つきに合わせ「よいしょ、よいしょ」と元気な掛け声を上げていました。





豊 クラリネット2本を寄贈 かな音を響かせて

公益財団法人日本厚生文化振興財団の社会貢献活動の一環として3月9日、浜岡中学校と御前崎中学校にクラリネットが1本ずつ寄贈されました。

石原市長は「素晴らしい物を寄贈していただき、ありがたい。大切にに使わせていただきたい。あたたかい気持ちに感謝する」と話し、齋藤哲夫理事長は「全国の中学校に1つでも楽器を贈れるよう、今後も活動を続けていきたい」と思いを述べました。



次 浜岡中・御前崎中表敬訪問 大会への抱負を語る

ソフトボールで県選抜に選ばれ、全国大会へ出場する浜岡中2年の塚本楓花さんと、新人戦で東海大会出場を決めた浜岡中男子バレーボール部員13人、県大会優勝により東日本大会へ出場する御前崎中剣道部の女子部員7人が3月13日、市役所を訪れ、それぞれの大会へ向けた意気込みを語りました。石原市長は「練習の成果を発揮して、素晴らしい結果を出せるよう頑張ってください」と激励しました。

地 11分団の新詰所完成 地域の防災拠点として

御前崎市消防団第11分団詰所が完成し3月19日、落成式が行われ、市や消防団、地元関係者が完成を祝いました。石原市長は「消防防災体制の中核を担う消防団には市民の安全・安心のため日頃の訓練や予防消防に努めてほしい」と述べました。伊藤団長は「消防団を取り巻く環境は年々厳しくなっているが、団員一丸となり予防消防に務め、市民の安全・安心のために頑張ってもらいたい」と話しました。



市 きらり輝く未来のために の現状を考える

総合計画に職員全員が携わり、一人一人が課を越えて市の将来都市像や10年後の御前崎市がどうあるべきかを考えるため、市役所職員を対象にワークショップを開催しています。3月17日には中堅職員のワークショップを開催しました。

講師に早稲田大学マニフェスト研究所の中村健氏を招き、参加者はグループごと、より良い御前崎市にするためのアイデアを出し合い発表しました。

協働のまちづくりを 平成27年度始動！

暮らし

- ▶ 公共交通運営事業 9,938万円
 - ・ 自主運行バス運行委託料 9333万円など
- ▶ 地球温暖化対策事業 1,599万円
 - ・ 機器導入促進補助金 1,500万円など
- ▶ 地域振興事業 5,477万円
 - ・ 住宅取得補助金 3,000万円
 - ☆ 世代間同居促進住宅補助金 400万円など
- ▶ 住宅リフォーム補助金 1,000万円
- ▶ わが家の専門家診断事業 376万円
- ▶ ブロック塀等耐震改修補助金 305万円
- ▶ 建築物耐震改修補助金 1,240万円

平成27年度の市の予算がまとまりました。一般会計歳入歳出予算額は、前年度より2.7%増の171億1,000万円。この財源がまちづくりに生かされます。予算書の中から、概要と本年度取り組む主な事業をお知らせします。

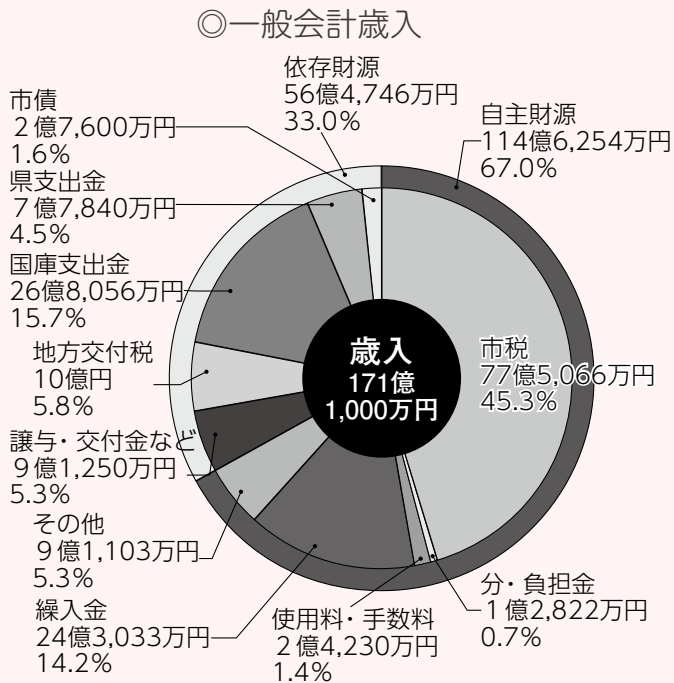
(★、☆は新規事業)

市民1人当たりの 予算はどのくらい？

市民1人当たりの予算

50万 5,689円

(平成27年3月末日の人口 33,835人で計算)



予算概要

一般会計歳出のうち目的別歳出では、教育費が小中学校の施設整備などで前年度より4億9,890万円増の29億2,222万円となりました。性質別歳出では、消防庁舎などの移転に伴う経費や各種システムの改修費用などに充てられる物件費が前年度より3億8,367万円増の33億6,656万円となりました。

一般会計歳入のうち市税は、固定資産税の減収などを見込み、前年度より1億9,755万円減の77億5,066万円。一方で、繰入金は、前年度より9億4,223万円増の24億3,033万円。市債は、前年度より4億9,700万円減の2億7,600万円となりました。税収減が見込まれますが、基金の活用によって必要な財源を確保しました。

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

教育

- ▶ 教育指導支援事業 4,556万円
 - ・ 学習支援員賃金(24人) 2,147万円
 - ☆ 教育ネットワーク構築 4,178万円
- ▶ 国際交流事業 2,510万円
 - ・ 小中高生の海外研修経費など
- ▶ 小学校整備事業 2億9,464万円
 - ☆ 白羽小学校プール新築工事 2億1,400万円など
- ▶ 各公民館改修工事 1億3,644万円
- ▶ 市民プールなどの改修工事 6,316万円
- ▶ 浜岡給食センターボイラーなどの工事 1,384万円

整備

- ▶ 市道維持事業 1億4,933万円
 - ・ 橋梁耐震補強工事(2橋)
 - ・ 橋梁長寿命化修繕工事(3橋)など
- ▶ 市道整備事業 5億7,080万円
 - ・ 市道217・256号線、佐倉東西線改良舗装工事など
- ▶ 街路整備事業 2億6,770万円
 - ・ 東町東海岸線改良
 - ・ 本町幹線改良
 - ・ 東町海岸線改良など
- ▶ 地域情報化推進事業 2億1,443万円
 - ・ 同報FAXシステム更新工事など

平成27年度予算

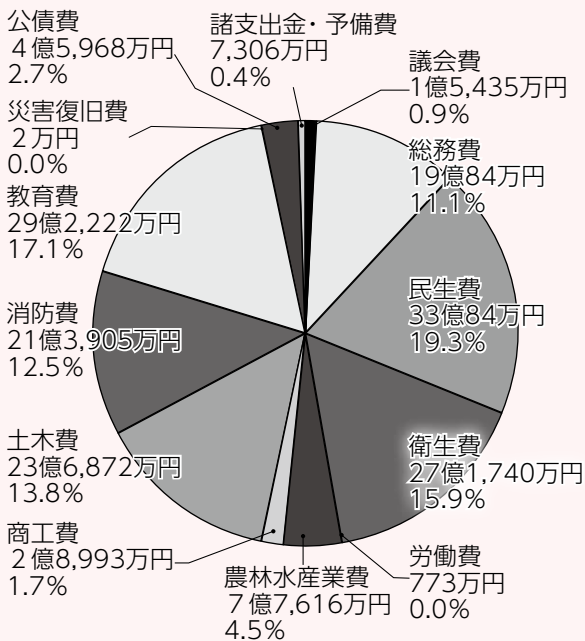
安心・安全

- ▶ 災害対策事業 2億4,607万円
 - ☆津波避難施設の設計 1,200万円
 - ☆原子力防災広域避難計画等の作成 1,710万円
 - ・民間への津波避難施設整備費補助 500万円
- ▶ 消防庁舎建設事業 10億4,799万円
- ▶ 防犯対策事業 1,412万円
 - ・防犯灯設置工事(20基) 300万円
 - ・防犯灯設置事業費補助(200基) 600万円など
- ▶ 消防施設整備事業 4,054万円
 - ・消防団ポンプ車更新(2台) 3,200万円など

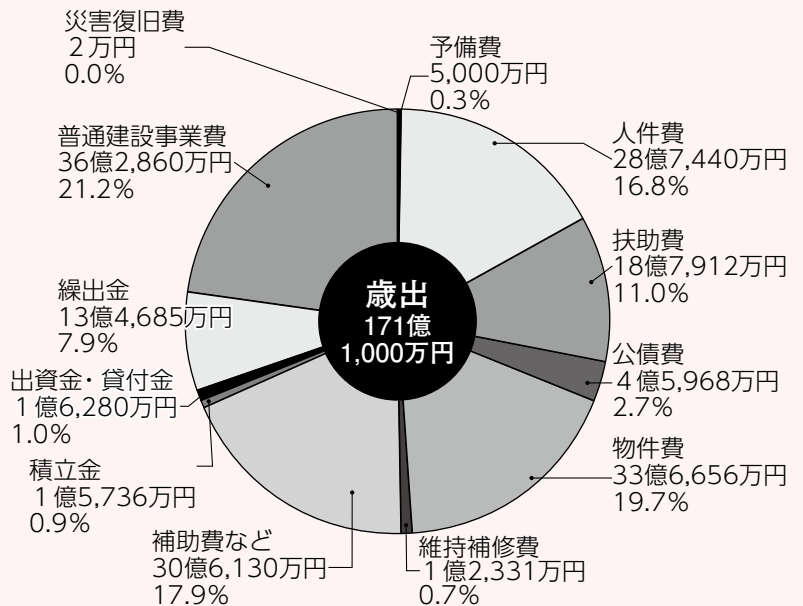
子育て・健康・福祉

- ★小学生体操服等購入助成事業 540万円
- ★出産奨励金支給事業 1,500万円
- ▶ 消費増税臨時給付金 4,680万円
- ▶ 児童手当 5億9,157万円
- ▶ 放課後児童クラブ事業 3,880万円
- ▶ 子ども医療費助成事業 1億483万円
- ▶ 各種予防接種事業 8,877万円
- ▶ 肺、胃、婦人科検診などの事業費 5,024万円
- ▶ 福祉タクシー券助成事業扶助費 1,850万円

◎一般会計目的別歳出



◎一般会計性質別歳出



特別会計・企業会計

特別会計	本年度予算額	前年度予算額
国民健康保険	46億5,300万円	39億2,100万円
後期高齢者医療保険	2億8,140万円	2億9,240万円
介護保険	24億8,739万円	24億9,329万円
農業集落排水事業	3億6,190万円	3億4,880万円
下水道事業	6億6,860万円	6億8,080万円
工業団地建設事業	6万円	6万円
5財産区計	8,660万円	8,245万円
企業会計	本年度予算額	前年度予算額
病院事業	53億1,600万円	51億4,800万円
水道事業	13億5,954万円	12億5,493万円

産業

- ▶ 農業振興拠点施設管理運営事業 2,273万円
 - ・風のマルシェ御前崎の管理委託など
- ▶ 観光支援事業 7,069万円
 - ・観光イベント等運営委託料 645万円
 - ・海水浴場管理運営業務委託料 1,000万円など
- ▶ 特産品開発事業 374万円
- ▶ 治山等整備事業 5,357万円
 - ・海岸松林植栽などの治山工事 3,700万円
 - ・海岸防災林そだ工などの工事 1,100万円など
- ▶ 渚の交番事業 1,130万円
- ▶ 地域観光交流事業 2,272万円
 - ☆海王丸イベント経費 550万円



夏の幻想的な風景を夢見て 3 / 2

高松幼稚園の年中組と年少組の園児46人が、門屋ホタルの里でホタルの幼虫を放流しました。これは平成12年から毎年行っているもので、園児たちはホタルの里代表の沖二三男さんからホタルの一生について話を聞いた後、「元気に大きくなってね」などと声を掛けながら優しく放流しました。

◀「夏に見に来るね」とホタルの成長を楽しみにする園児



目標タイムを目指して疾走 3 / 7

第5回ジャストインクロカンが浜岡白砂公園で開催されました。この競技は自分で設定したタイムと実際に走ったタイムとの差がどれだけ少ないかを競うものです。今回は子どもから大人まで122人が参加して、それぞれの体内時計を頼りに少し早い春の日差しの中を駆け抜けました。

◀春の風を感じながら一斉にスタートする参加者



大きなイチゴを手に大興奮 3 / 9

北こども園の年長組園児たちが、宮本耕治さん(下朝比奈)が栽培するイチゴハウスでイチゴ狩り体験をしました。宮本さんの「自分の手でイチゴを摘んで味わってもらいたい」という思いで昨年からの実施されており、園児たちは大きく実ったイチゴを手に「おっきいよ〜!」「あま〜い」と笑顔で頬張っていました。

◀大きなイチゴを満面の笑みで見せてくれた園児



お茶のシーズンがスタート 3/22

新野左馬助公へ献上する新茶の初摘みが3月22日、新野地区のハウス茶園で行われました。新茶の季節の幕開けとなるこの恒例行事には地元住民ら約30人が参加し、一芯二葉の手摘みで新芽を摘み取ると、ハウス内は春を感じさせる新茶の香りで満たされました。摘み取った茶葉は手もみされ、献茶式で奉納されます。

◀やわらかい新芽を優しく摘み取りました



料理を通じて食卓に笑顔を

2/28

料理を通じて家庭での男女の役割を考え、家族の絆を深めようと「愛の料理教室」が白羽公民館で開催されました。料理教室の前に男女共同参画の考え方について説明した後、市内に料理店を構える辻岡夫妻を講師に、カルボナーラ・メカジキのピカタ・チョコレートムースの3品を作りました。

◀調理のコツを真剣に聞く参加者



かわいいバッグができたよ

3/ 3

パラカンコげきじょうのひなまつり会が浜岡中央児童館で開かれました。参加した未就学児45人とその保護者は、人形劇団ドレミによるひなまつりの人形劇を見てひなまつりの歌を歌ったり、親子で協力して折り紙で作られたお内裏さまやおひなさまの飾りが付いたひなまつりバッグを作ったりしました。

◀お内裏さまとおひなさまの顔をかわいく描けました



気軽に楽しむバドミントン

3/ 9

第1回御前崎市ファミリーバドミントン大会が市B & G海洋センターで開催され、市民40人が参加しました。ファミリーバドミントンは軟らかいスポンジのシャトルを短いラケットで打ち合う初心者でも気軽に楽しめるスポーツです。スマッシュがないため参加者はラリーを楽しみながら心地よい汗を流していました。

◀きわどいところをナイスレシーブ



1年の思いを歌声にのせて

3/22

御前崎市少年少女合唱団の第17回定期演奏会が市民会館で開催されました。当合唱団は文化祭など市内のさまざまな行事に参加し、活躍の場を広げてきました。団員たちは一年間の集大成として思いを込めたステージを披露、会場に訪れた約400人の観客は美しい歌声に耳を傾けていました。

◀美しいハーモニーに客席からは大きな拍手が送られました



▲会下ノ谷遺跡の遠景



灰釉陶器の広口瓶▶

History

キラリを再発見

比木の有力集落と 想定される遺跡

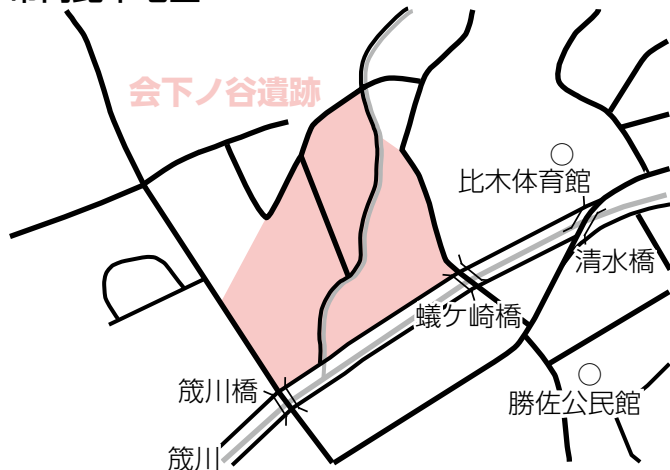
比木地区にある会下ノ谷公民館南側一帯の水田地帯に会下ノ谷遺跡が立地しています。

郷土史研究家の小野芳郎氏はこの地帯で遺物を採集しています。昭和44年頃に箴川の改修工事が行われているため、この頃に発見された遺跡だと考えられます。

採集された遺物は平安時代の灰釉陶器の広口瓶で、高さが16.1^{センチ}です。これは11世紀頃に作られたものと推定され、この種の灰釉陶器の広口瓶が集落跡から発見される例はそれほど多くありません。

また、発掘調査を実施していないためははっきりとは分かりませんが、会下ノ谷遺跡は比木地区の中心部を占めていることから、平安時代の比木地区の有力な集落だったと想定されます。

市内比木地区



埋蔵文化財包蔵地 会下ノ谷遺跡

照会 社会教育課 ☎0548⑧1129

Atomic

暮らしと原子力

浜岡原子力発電所

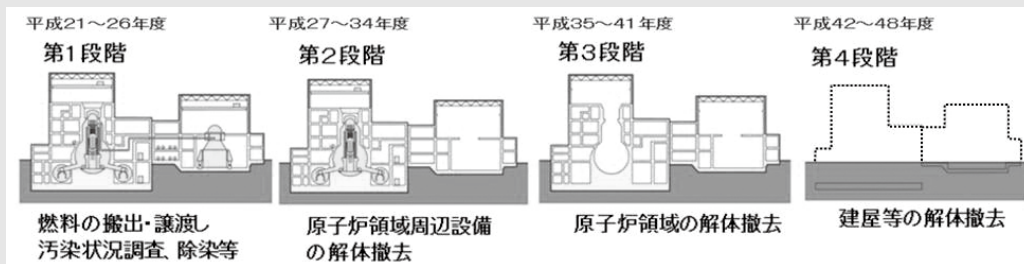
1・2号機廃止措置計画の

変更認可申請について

中部電力では、平成21年度から開始した廃止措置計画の第1段階において、燃料搬出や系統除染、汚染状況調査、屋外設備の解体撤去などを進めてきましたが、平成27年3月16日に「浜岡原子力発電所1号原子炉及び2号原子炉廃止措置計画」(以下「廃止措置計画」という)の第2段階である原子炉領域周辺設備の解体撤去に移行するため、変更認可申請書を原子力規制委員会に提出しました。

第2段階では、排気筒や建屋内の原子炉領域周辺設備の解体撤去に着手するとともに、引き続き原子炉圧力容器内の除染および汚染状況調査などを実施していく予定とのことです。

なお、中部電力は、解体撤去に伴い発生する低レベル放射性廃棄物の廃棄先は現時点では未定であることから、第2段階では、放射性廃棄物として扱う必要がなくなるものが主体となる設備から優先して解体し、廃棄物については、当面、1・2号機の建屋内などに安全に保管・管理していくとのことです。



▲廃止措置計画全体スケジュール

がん検診、受けていますか？

～がん検診 愛する家族への 贈り物～

市で行っているがん検診は
市民ならどなたでも受けることができます。

※対象となる年齢や性別があります。



検診の種類や内容、自己負担金など、不明な点はお気軽にお問い合わせください。



2人に1人が「がん」になる
がんによる死亡者数は年々増加しており、今や2人に1人はがんになる時代。しかし、早期に発見して治療すれば、完治する可能性が高まります。愛する家族のためにも、がん検診を受けましょう。

照 会 国保健康課 ☎0537⑤1171

親子で幸せを感じよう

「幸せ体験」を共有しよう

親にとって楽しいことや幸せなことは、そのまま子どもの「幸せ体験」になります。赤の他人ではこうはいきません。親子だから楽しいことや幸せな気持ちが親から子へ伝わり、「幸せ体験」が共有できるのです。

もちろん、子どもから親に伝わる場合もあります。楽しそうな子どもや幸せそうな子どもを見ただけで、お父さんやお母さんにもその幸福感が波及します。

幸福感を膨らます「おまじない」

子どもと一緒におやつを食べるときに「美味しいね」「幸せだね」と声を掛けてみましょう。そうすることで、子どもの幸福感を膨らませることができるのです。これは言葉の「おまじない」と言われ

ていて、子どもだけでなく親にとっても効果があります。

春になると新しい出会いや始まりに、わくわくしたりドキドキしたりすることがたくさんあります。そんな時期だからこそ大人も子どもも言葉の「おまじない」で、楽しみや幸せをたくさん感じてみませんか。



照 会 国保健康課 ☎0537⑤1171

おまえざきの きらり輝く人

エンデューロへの再挑戦 熱き男が大地を駆ける

澤木千敏さん

PROFILE

さわき ちとし(白羽区出身・36)
市内のモータースで働きながら、日曜日は林道などの未舗装の道を長時間走る技術と体力を競うバイクレース「エンデューロ」に出場している。

飽くなき努力の先に

自然の地形を生かした全長数十キロにも及ぶダートコースを疾走するライダー。それが澤木千敏さんだ。

澤木さんは両親の影響で5歳からバイクを始めた。16歳で初めてレースに出場し見事優勝、バイクを始めた時から「どうせやるなら一番がいい」という気持ちは変わらない。20歳からは「全日本チャンピオン」を目標に惜しまぬ努力を続けてきた。「人と同じことをやっても絶対に勝てない。

仕事があり練習時間は限られていても、常に工夫し誰よりも内容の濃い練習をした」とバイクに掛ける情熱を語った。

挑み続けることへの葛藤

「努力はうそをつかない」と話す澤木さんは、限界まで自分を追い込んだ。厳しい練習を積み重ね迎えた2006年、ついに全日本チャンピオンの栄冠を獲得。「優勝できたのは妻のおかげ。全力のサポートに結果で応えたかった」と感謝の念を抱く。

しかし、チャンピオンとなった翌年以降は、心のど

こかに喪失感があったという。「一度頂点を見ると、モチベーションを保つことが難しい」と葛藤した時期もあった。2011年には半月板を損傷。手術台で麻酔が効くと、とてつもない恐怖を感じた。「こんなに怖い思いをするならバイクをやめようと思った。でも気付けば乗っていた」と笑顔で話す。その後、周囲から惜しまれつつも第一線から引退。しかし、バイクから離れてみると何をやっても満足できなかった。

ライダー澤木の復活

レースから離れた生活を送っていたが2014年、「わが子に活躍している姿を見たい」とレースへ復帰。「チャンピオンは昔の話。今すごい人が一番すごいと思う。その姿を子どもに見せたい」と熱い思いを語る。「勝つためにどうしたらいいか考えることが楽しい」と笑顔で語る澤木さんは、復活後わずか2戦目で優勝を果たした。

「レースに出るからには絶対に負けたくない」と話す澤木さん。今後もベテランライダーの活躍に期待したい。

平成27年度町内会役員一覧

町内会役員名簿

	町内会名	町内会長	副町内会長	総務委員	建設委員	保健委員	スポーツ委員	交通指導員
池新田	東 町	水野秀樹	早馬彰夫	村松博夫	小川 満	石田由梨子	大須賀 亘	川原崎進、野川明宏
	本 町	◇山下 操	松下清三	松下 保	中嶋勝彦	松下澄江	石川勝俊	狩野龍一、鈴木 博
	早苗町	山崎正司	伊藤晴敏	中山広基	村瀬秀和	山下光子	鈴木雅人	小野田 忠、佐野 進
	中 町	栗林和郎	栗林 康	佐野輝幸	川村憲二	藤本八重子	牧野広樹	藤本孝行、渥美十寸保
	大 山	阿形 操	阿形好三	湊 直樹	松下 智	山下敦子	阿形正好	加納一義、近藤典宏
高松	門 屋	大倉幸祐	長嶋良夫	河田全玄	長嶋正巳	長嶋順子	沖 和彦	長嶋輝雄、松下正人
	塩 原	沖 輝夫	松本雅彦	石原悦男	松本公雄	谷 良子	相澤一雅	松本信明、鈴木克巳
	合 戸	◇杉山道男	松下芳昭	石川仁久	松下 稔	鈴木尚子	藤原寛明	匂坂和義、小田貴生
佐倉	佐倉一区	植田勝利	水野洋三	清水菅夫	増田哲也	秋野美栄子	清水政美	柳澤正幸、鈴木照夫
	佐倉二区	◇井戸正司	栗山浩二	樽林孝之	高山 優	樽林安江	水野寿康	河合繁康、植 一将
	佐倉三区	清水菊男	加藤信明	河原崎克巳	水野成雄	池谷裕子	山本裕行	判治裕尚
	桜ヶ池	中嶋 博	鴨川 朗	増田正久	名波鋭幸	湯川千穂子	石原裕志	河原崎 忍
比木	比木原	樽林富雄	岡村一雄	岡村一雄	高畑敏雄	鈴木知子	鈴木栄一	樽林茂樹
	上比木	◇橋本輝雄	岡村文雄	岡村文雄	樽林 実	坂本すゞ子	片山智哉	橋本智司、原田正巳
	下比木	栗山寛治	山口丈男	山口丈男	寺田春夫	櫻井尚子	山元研二	植田菊平
朝比奈	朝比奈原	中嶋 譽明	増田剛巳	中嶋 誠	河原崎末男	河原崎睦代	河原崎 昌	増田茂行
	上朝比奈	鳥羽西一	鈴木 修	植田政春	水野富雄	曾根喜代子	河原崎久行	水野敏彦、太田泰之
	下朝比奈	○櫻井謙次	河原崎富雄	山本 博	赤堀裕一	増田幸子	櫻井正晴	櫻井文博
新野	新野西	◎五島達夫	渥美昌裕	増田茂樹	増田直巳	山本晴恵	五島健治	樽林克王、鷺山明広
	新野東	増田高志	川島元治	荒内正義	森下 守	大池貴美子	鈴木規仁	川島勇人
	新野南	寺田想太郎	沖 勇人	杉浦浩務	村松和久	鷺山和代	沢田泰行	水野晴男
御前崎	上岬区	松井敏実	島田春夫	松林敏雄	松林 徹	坂本明美	伊村勇人	松林修士
	下岬区	下村 裕	横山真治	下村菊志	鈴木友男	鈴木辰美	吉村英彦	山崎義雪
	大山区	川口勝実	戸河里高志	吉村昭夫	澤入和雄	寺澤しづ子	片渕孝通	藤沢照夫、松林正志、森田厚美
	西側区	○松井範雄	笹野井達彦	澤入想一郎	松下正男	植田信江	平林達彦	川口悦雄、澤井 勲
	女岩区	原口 昇	川口 博	小野田茂樹	小野田幹雄	川口ノリ子	小野田豊	川口国博、大澤俊郎
	広沢区	植田隆吉	栗林敏治	伊村隆志	南倉博且	横山ひろみ	清水正樹	菰田照雄
	新谷区	高塚繁幸	高塚幹雄	高塚 伸	松林延好	増田晴美	好沢裕二	高塚記代志、高塚和穂、栗林廣明
白羽	薄原区	松井正至	松井悦男	小田 雄	櫻井正信	座光寺智子	大石洋己	藤波敏晃、増田邦男
	中原区	鈴木哲郎	増田正晴	高塚晴久	川口正美	増田高峰	潮田伸雄	増田澄夫
	白羽区	増田正志	齋藤 貢	安西義美	安西文夫	河原崎輝美	松井 忍	松井良雄、安西道廣
	白浜区	◇加藤英男	添田英夫	齋藤正敏	齋藤 守	澤入美佐子	小笠原秀樹	八木一吉
新神子区	加藤益男	齋藤丈雄	松井誠一郎	松下實治	曾根りり子	下村康博	加藤孝夫	

※町内会長の◎印は連合会長、○印は連合副会長、◇印は地区総代

●役員的主要な仕事内容

町 内 会 長：自治会の代表者
 副 町 内 会 長：町内会長のサポート
 総 務 委 員：環境美化の推進
 建 設 委 員：土木全般のとりまとめ

保 健 委 員：地域の健康づくり事業の推進
 ス ポ ー ツ 委 員：スポーツの推進と振興
 交 通 指 導 隊：交通安全の推進と指導

Information

立的に取り組む活動

- ②地域の景観や歴史文化などを生かした地域づくりなど、地域の活性化につながる活動
- ③まちおこしイベントなど、地域活性化に効果的なイベントなどの活動

補助金額

- ・手作り施設整備活動 (30万円以内)
 - ・人づくり等育成活動 (20万円以内)
 - ・地域活性化のための活動 (20万円以内)
 - ・まちづくり団体等広報活動 (5万円以内)
- ※対象となる団体や活動については、お問い合わせください。

照会 秘書政策課

☎0537⑧1161

登録統計調査員にご協力をお願いします

市では、国や県の実施する各種統計調査に調査員としてご協力いただける人を事前に把握するため、登録調査員を募集しています。

調査員の要件

- ・20歳以上である人
- ・選挙、税務、警察に直接関係のない人
- ・暴力団員もしくは暴力団員と密接な関係を有しない人

平成27年度は国勢調査があり、多くの調査員が必要となるため、調査員としての登録にご協力をお願いします。

※詳細はお問い合わせください。

照会 秘書政策課

☎0537⑧1161

未来の看護師たちの宣誓式を観覧しませんか

東海アクシス看護専門学校では、2年生が各自の目指す看護師像を宣誓する「宣誓式」を行います。観覧希望者は、照会先へご連絡ください。

日時 5月10日(日)10時~11時15分

※観覧者は9時20分集合

場所 東海アクシス看護専門学校 校体育館

対象 中学生・高校生とその保護者(小学生・乳幼児の同伴不可。同伴者も申し込みが必要です。)

※詳細はお問い合わせください。

募集人数 30人

申込締切 4月27日(月)

照会 東海アクシス看護専門学校

☎0538④8111

吉田特別支援学校中学部の学校見学会を開催

県立吉田特別支援学校は、平成27年4月に開校となりました。

そこで、入学を考えている小学6年生とその保護者を対象に、見学会と説明会を開催します。

日時 5月27日(水)
9時20分~11時45分

場所 県立吉田特別支援学校

参加料 200円程度(保険代)

申込締切 5月8日(金)

※詳細はお問い合わせください。

照会 県立吉田特別支援学校

中学部 総務課

☎0548②9872

平成27年度JICAボランティアを募集

JICAボランティア制度の説明や経験者による体験談、応募相談などを実施します。

日時 4月25日(土)
青年 …14時~16時
シニア…10時30分~12時30分

場所 パルシェ7階会議室

対象 青年 …20~39歳

シニア…40~69歳

※申し込み不要。直接会場にお越しください。

照会 静岡県JICAデスク

☎054(202)0931

人の動き

(平成27年3月末日現在の速報値)

(前月比)

人口 33,835 (-99)

男 17,093 (-59)

女 16,742 (-40)

世帯数 11,811 (+3)

広報 今月の表紙



白羽小学校の6年生は1年かけて表現力や団結力を育んできました。卒業を控えた3月6日、これまでの集大成として音楽に合わせ跳び箱やマット運動、組み体操を一つにした「マット de シンクロ」を全校児童の前で披露しました。一致団結した迫力の演技に大きな歓声が上がりました。

Loss time

このたびの人事異動で広報担当としてペンを置くこととなりました。2年という短い期間ではありましたが、皆さんの笑顔に支えられてこまめやっけてくれました。

写真や文章に悩みながらも、全力で駆け抜けた本当に充実した日々でした。何よりも取材を通じ多くの皆さんと出会えたことがかけがえのない宝物です。本当にありがとうございました。担当は替わりますが「広報おまえざき」をこれからもよろしく願います。 Y (栗林義樹)

情報掲示板

お知らせ information

扶助費の申請期間は 5月1日から29日まで

以下の支給要件に該当する人を対象に、扶助費を支給します。

支給要件

- 在宅の重度障害(児)者(身体障害者手帳1・2級、療育手帳、精神保健福祉手帳1・2級のいずれかを持つ人)で、世帯合計所得額600万円以下の人
 - 70歳以上の一人暮らし生活者で、収入金額150万円以下の人
 - 寝たきり者や認知症の人を6カ月以上常に家庭で介護している人
- ※年齢などは平成27年4月1日が基準
※申請書を地区担当民生委員へ提出してください。

照会 福祉課

☎0537⑤1121

外国人登録証明書の 切り替えはお早めに

外国人登録証明書は一部の特別永住者を除き、平成27年7月8日までに特別永住者証明書または在留カードに切り替える必要があります。早めの切り替えをお願いします。

※詳細は法務省入国管理局のホームページをご覧ください。

照会 市民課

☎0537⑤1117

電話お願い手帳をご存じですか？

「電話お願い手帳」は、耳や言葉の不自由な人やお年寄りが外出先で用件や連絡先などを書き込み、近くの人にお願いするときに使用

するものです。この手帳は耳や言葉の不自由な人からのお願いサインなので、ご協力をお願いします。

手帳は福祉課窓口においてありますので、必要な場合はご自由にお持ち帰りください。

照会 NTTビジネスアソシエ西日本

☎054(200)1490

春の休日を家族一緒に 楽しく過ごそう！

御前崎シーサイドピクニックを開催します。会場には、飲食販売エリアやドッグエリア、ちびっこエリアなどが設けられます。フォトコンテストやダンスなども開催されます。是非ご来場ください。

日時

4月25日(土)9時30分～16時

26日(日)9時30分～15時

会場 マリンパーク御前崎

照会 御前崎市商工会

☎0537⑥2146

「文芸おまえざき」 第11号を発刊しました

文芸おまえざき第11号には、投稿者88人による力作113点が掲載されています。

ぜひご購入ください。

価格 1冊500円

販売場所 社会教育課・図書館アスパル

照会 社会教育課

☎0548③1129

子どもや子育ての悩み 一人で悩まず110番

電話相談「子ども・家庭110番」では、お子さんや子育てに関する悩みを一緒に考えます。内容についての秘密は固く守り、匿名での相談も受け付けます。一人で悩まず、一度相談してみませんか。

相談時間 9時～20時(土日は17時まで。祝日、年末年始はお休み)

照会 子ども・家庭110番(西部地区)

☎053(458)4152

カラスの巣を見つけたら お電話ください

春が近くなると、カラスが産卵のために電柱に巣を作ります。巣の中には針金などの金属も入っており、停電の原因となります。電柱の上にカラスの巣を発見したら、ご連絡ください。

照会 中部電力(株)掛川営業所

☎0120(985)240

(フリーダイヤル)

募集

invite information

4年生大学への進学を 希望する奨学生を募集

御前崎市に在住し、平成28年4月に大学進学(短期大学を除く)を考えている人で、奨学金の貸与希望者を募集します。

申込締切 5月29日(金)

申込資格 両親の平成24～26年の平均所得が650万円以下で、学業成績の平均値(5段階評価)が3.5以上。また、同居の世帯員に市税の未納がないこと。

募集人数 20人

奨学金 月額5万円(無利子)

申込方法 在学校の奨学金窓口を通して申請してください。

照会 教育総務課

☎0548③1128

地域のまちづくり活動 に支援補助金を交付

対象

①地域の課題などに自主的かつ自



「かわいい」おまえぎのたから

4月
生まれの
元気な子



たむらひかり
田村光彩ちゃん1歳
(佐倉二区)



はらだちさ
原田智佐ちゃん1歳
(佐倉一区)



はかまだ
袴田なのはちゃん1歳
(桜ヶ池)



まつしたはるか
松下春花ちゃん2歳
(新野東)



なかじま たすく
中嶋 佑くん2歳
(下比木)



うえたののか
植田暖華ちゃん2歳
(広沢区)

かわいい笑顔を募集します。
対象：6月生まれの1歳～3歳児で、本コーナーへ掲載されたことのない子
申込期間：5月11日(月)、12日(火)の2日間、8時15分～17時
(応募多数の場合は写真が小さくなります)
◆申込先：市役所秘書政策課
☎0537(8)1161



さいとうなおき
齊藤尚希ちゃん2歳
(佐倉二区)



くればやしめい
榎林芽依ちゃん3歳
(大山)

このコーナーはケーブルテレビでも放送されます。

バランス朝ご飯 ～緑色の栄養+1品～



春野菜の彩りサラダ



材料(2人分)

- スナップエンドウ 50g
- ニンジン 50g
- すりゴマ 大さじ1
- マヨネーズ 大さじ1

ご飯(黄色の栄養)と焼き魚(赤色の栄養)にプラスして赤・黄・緑3色そろったバランスの良い朝ご飯で体のスイッチオン!

- 1 スナップエンドウは筋を取って洗い、ポリ袋に入れて電子レンジで1分加熱する。(500W)
- 2 ニンジンも千切りにしてポリ袋に入れ、水大さじ1を加えて電子レンジで1分加熱する。(500W)
- 3 熱いまま皿に盛り、Aをかけて出来上がり。

▶ 1人分=89kcal

赤:体をつくる 黄:エネルギーのもとになる 緑:体の調子を整える

〈御前崎市健康づくり食生活推進協議会〉